

サプライチェーン全体のマネジメント

背景

経済のグローバル化やステークホルダーのニーズの多様化に伴い、商品・資材・材料などを調達する際に、環境や人権課題についてサプライチェーン全体で対応することが求められています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、サプライチェーンの寸断が発生し、持続可能なサプライチェーン構築の必要性が一層高まっています。

取り組み概要

社会的責任のあるサプライチェーンの構築に向けて、調達基準に環境・社会軸を追加、取引先の状況把握のためのサプライチェーンアセスメント強化、社内外への持続可能な調達への教育・支援活動を行っています。

今後の方向性

JFRお取引先様行動原則の浸透とサプライチェーンアセスメントの実施、人権面での取り組み強化、サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。さらにCSV戦略の実現に向け、環境や社会課題に配慮した新規取引先の選定や、環境課題に配慮した商品の展開も進めます。

長期目標

2030年 JFRお取引先様行動原則100%浸透

2030年 Scope3温室効果ガス排出量40%削減を目指す(2017年度比) ※SBT認定目標

2019年度の主な取り組み(一部2020年度あり)

- JFR行動原則、JFRお取引先様行動原則策定
- Scope3温室効果ガス排出量の算定と第三者保証の取得
- お取引先様への賛同働きかけ(行動原則の送付、お取引先様説明会の実施)
- 環境配慮型包装資材への切り替え
- エコフの取り組み

JFRお取引先様行動原則策定と賛同の働きかけ

JFRグループは、2019年6月に「JFRお取引先様行動原則」を策定し、お取引先様とともに実現させていく持続可能な社会づくりにつながる企業行動について示しています。

この行動原則をグループのお取引先代表者宛へ送付し、考え方・規範にご賛同いただけるよう働きかけを行いました。(2019年11月末現在8,727社へ送付)また、2019年10月、大丸松坂屋百貨店は「JFRお取引先様行動原則説明会」を東京・大阪で同時開催し、530社652名に参加いただきました。今後も、お取引先様とともに社会的責任を果たし、双方の企業価値向上につなげていきます。



大丸松坂屋百貨店による
JFRお取引先様行動原則説明会

Scope3の算定と第三者保証の取得

JFRグループは、サプライチェーンから排出される温室効果ガス排出量(Scope3)の削減についても、SBT認証を取得した長期目標を掲げ取り組みを進めています。

2020年度はScope1・2に加えて、Scope3についても第三者保証を取得し、より客観性と透明性を高め、サプライチェーン全体での温室効果ガスの排出削減に取り組みます。

環境配慮型包装資材への切り替え

大丸松坂屋百貨店では、2019年9月から環境に配慮し管理された森林から作られた紙を使用したショッピングバッグに切り替えています。また、海洋プラスチックゴミ問題で注目されている食品レジ袋についても、バイオマス(植物由来の資源)を30%使用した製品に切り替え、従来製品と比較して1枚あたり約24%の温室効果ガス排出量を削減することができました。さらに、2020年6月からは大丸松坂屋百貨店オリジナルのレジ袋や食品用手提袋の有料化を行っています。



森林認証の紙を使用した
ショッピングバッグ



バイオマスを30%使用した
レジ袋

持続可能な顧客参加型プロジェクト「エコフ」の取り組み

大丸松坂屋百貨店では、お客様がご不要になった衣類・バッグ・靴などを店頭で回収し、リサイクル・リユースすることで環境負荷をOFFする活動「エコフ」を展開しています。この取り組みは、回収点数に応じてショッピングサポートチケットを進呈し、エコ活動だけでなく、お得にお買物をしていただける、循環型のショッピング&リサイクルキャンペーンとして、多くのお客様にご参加いただいています。

さらに現在は、全国9店舗での回収BOXの常設や、使用されなかったチケットの相当金額の一部を環境保護団体に寄付をしています。(累計回収点数:232万2021点 2019年11月現在)